

平成 26 年度特別調査（ヒアリング等）の実施について（案）

1. 概要

- 次回診療報酬改定（平成 28 年度を予定）に向けて、議論を行っているが、より適切な見直しに向けて下記の通りヒアリング調査を実施することとしてはどうか。

2. 調査の背景と目的について

- (1) 分院に機能を移している大学病院、精神科病床を備えていない大学病院について
 - 分院に機能を移している大学病院や、総合的な機能の一部（精神科病床など）を備えていない大学病院に関して実態を把握し、大学病院として望まれている適切な機能を果たしているのか把握するためにヒアリングを行う。
- (2) 手術・処置、定義副傷病の適切なコーディングについて
 - 手術・処置や定義副傷病の分岐におけるコーディングにおいて、実際の治療内容や患者病態と異なるコーディングが行われている事例について、医療現場での実態についてヒアリングを行う。
- (3) 激変緩和対象病院について
 - 調整係数が H28 年度改定において、さらに 75%へと置換される予定であるが、激変緩和対象となる病院の現状を確認する必要がある。

3. 調査対象医療機関の選定について

- 全国の DPC 対象病院および準備病院を対象とする。
- 平成 25 年度の DPC データを集計し、以下に該当する医療機関に対し、調査票を配布する。
- ヒアリング対象となる医療機関については、調査票を取りまとめた結果等を踏まえて、以下の区分に応じて、数医療機関を当該分科会に招集する。

- ① 分院に機能を移している大学病院、総合的な機能の一部（精神科病床など）を備えていない大学病院について
 - ・分院におけるⅡ群の選定に係る実績要件と、本院のそれとの差が少ない医療機関
 - ・精神科病床を備えていない医療機関
- ② 手術・処置、定義副傷病の適切なコーディングについて
 - ・実際に選択された診断群分類番号と、EF ファイル等から抽出しコーディングした診断群分類番号の乖離率の高い医療機関
- ③ 激変緩和対象病院について

・ H28 年度改定において激変緩和対象となる医療機関

- 激変緩和対象となる医療機関は公開されていないため、アンケート調査を行うこととしてはどうか。